



人を想い、
地球を想う。

第100期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

国内、海外ともに売上高堅調。 成長市場のニーズに対応した製品をタイムリーに投入していきます。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

第100期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が尾を引きながらも、個人消費は底堅く推移し、設備投資は企業の業績改善を背景とした増加基調にあったことなどから、緩やかに景気が回復したと見られています。海外経済は、米国・欧州の景気が緩やかに回復する一方、新興国の景気は弱含みで推移いたしました。このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、国内売上高の伸長に加え、アジア圏を中心とした海外の売上高が堅調に推移し、かつ、為替の円安が進行したことなどから、年初の業績予想を上回る売上高・利益を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高329億36百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益38億23百万円（前年同期比23.4%増）、経常利益42億76百万円（前年同期比22.4%増）、四半期純利益29億59百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

中間配当につきましては、1株につき8円、支払開始日を平成26年12月3日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、欧州ではユーロ圏の中核であるドイツ経済に減速感が漂い、米国では好調に推移していた消費の動向に翳りが見えるなど、景気の先行きに不透明感が強まりつつあると見られています。また、新興国・資源国も、政治・経済情勢等は不安定で、景気動向には依然として力強さが欠け、世界経済の減速が懸念されて

います。

国内では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が尾を引くなか、設備投資や個人消費に停滞感があることから、日銀が追加金融緩和に踏み込みましたが、今後の財政・金融政策や世界経済の動静によっては、景気の後退局面を迎える可能性もあると見られています。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精度、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

ヨーロッパの拠点を強化 ドイツでの自動車エンジン用タイミングベルトの販売拡大 ポーランド工場の生産能力を増強



【ドイツ新事務所兼倉庫】

現在、ドイツのデュッセルドルフ近郊（ノイス市）の拠点については、納入先の拡大に伴い、人員の強化、在庫の充実を図り、お客様の要望に対応するため、現在の場所を同市内で移転拡充することになりました。新拠点は、2階建て、床面積約5,000㎡と現在の約4倍となり、Vベルト・タイミングベルト・リブスターベルト・変速ベルトなどの在庫品目・量をとともに増やし、さらに短縮納入体制を強化いたしました。

また、ヨーロッパ市場では、自動車用エンジンの金属製チェーンを、ゴムタイミングベルトに置き換えることにより、更なる軽量化を推進する方向にあります。このたび当社は、油中で用いられる金属製チェーンを上回る耐久性を有したゴムタイミングベルトを開発し、軽量化を図ることができ、フォルクスワーゲン社様への納入を開始することとなりました。このタイミングベルトは、国内では、すでに富士重工業(株)様汎用エンジン用で2年以上使用されており、この耐久性能を確立しております。

今後、ヨーロッパ市場への飛躍的な需要の増大が予想されるため、ドイツの拠点の整備を行い、納入体制の更なる強化を図るものであります。

また、ヨーロッパ市場では、樹脂製ベルトの需要が旺盛で、当社へも精度と耐久性のあるベルトの要求が増加しているなか、市場ニーズに応えるため、ポーランド工場内に、フリースパンベルトの生産設備を増強いたしました。お客様の要求にお応えできるよう、以前より、工場直結での、短納期製造体制をこのたび構築いたしました。

フリースパンベルトは、長さを自由に指定でき、長い距離の往復運動、長いスパンの回転運動にも使用が可能で、また、ベルトの材質は、樹脂製ベルトの特性を活かし、食品衛生法に適合している素材を使用しています。食品製造機械や、搬送物を指定場所へ決め置きする機械、各種検査機器など、幅広い用途での採用が期待されています。

連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高329億36百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益38億23百万円(前年同期比23.4%増)、経常利益42億76百万円(前年同期比22.4%増)、四半期純利益29億59百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

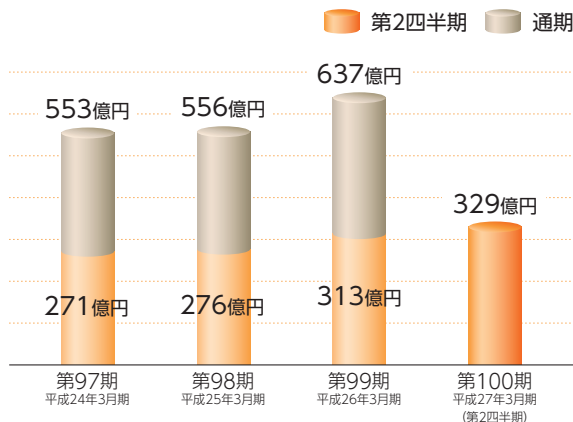
当第2四半期連結会計期間末は、現金及び預金の増加等により流動資産が14億93百万円、有形固定資産が4億20百万

円とそれぞれ増加したことに加え、株価の上昇に伴い投資その他の資産も11億66百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比30億80百万円増加の816億56百万円となりました。

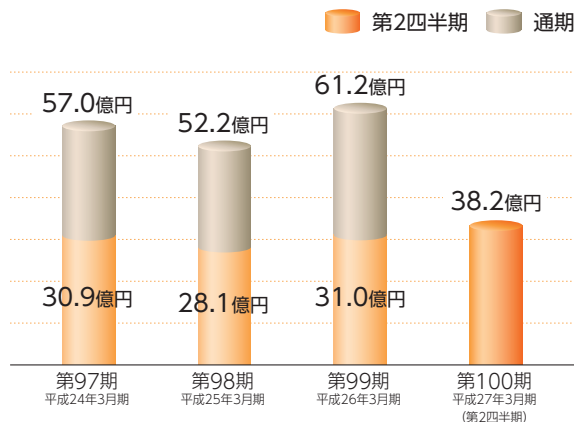
一方、負債は、流動負債が10億29百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比9億35百万円減少の269億19百万円となりました。

純資産は、四半期純利益等の計上により利益剰余金が23億

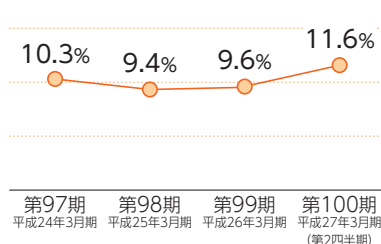
売上高



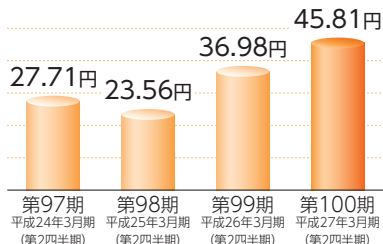
営業利益



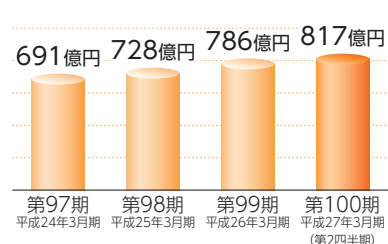
営業利益率



1株当たり四半期純利益



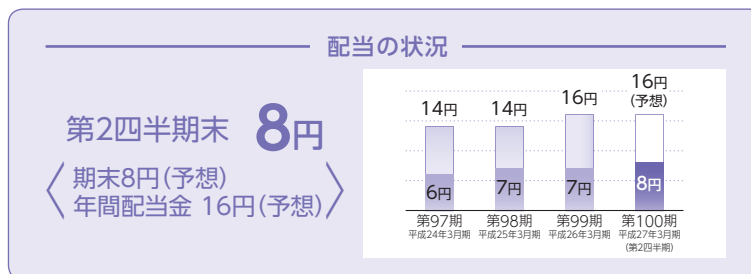
総資産



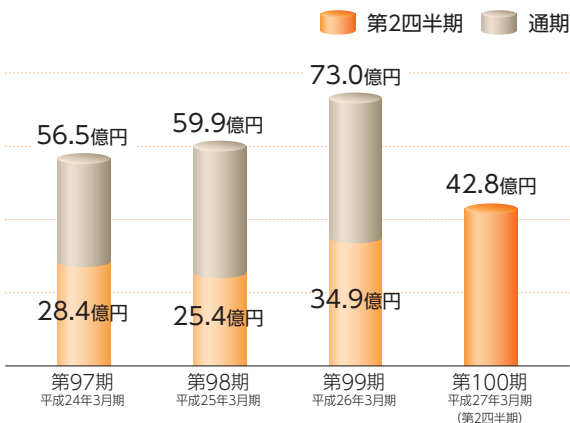
(注) 第98期より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

78百万円、株価の上昇及び為替の影響によりその他の包括利益累計額が16億40百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比40億16百万円増加の547億37百万円となりました。

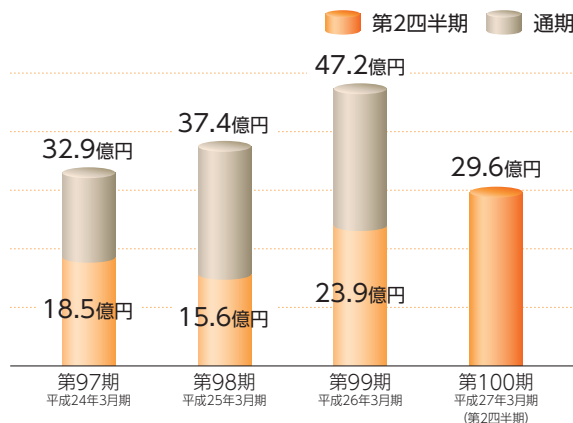
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から67.0%に上昇しました。



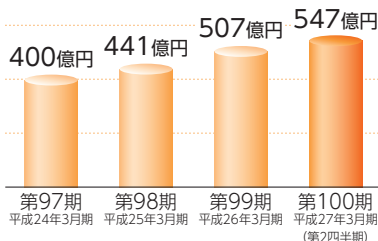
▶ 経常利益



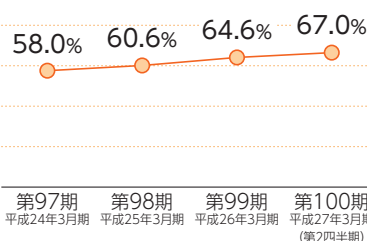
▶ 四半期(当期)純利益



▶ 純資産



▶ 自己資本比率

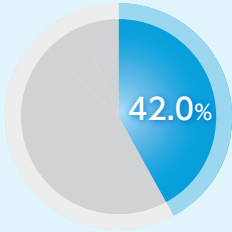

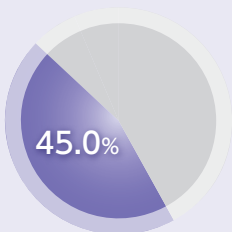

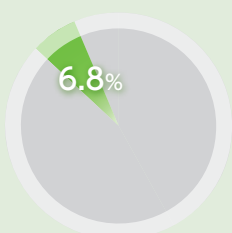

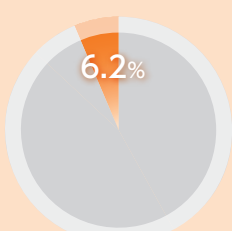



平成27年3月期連結業績予想

売上高	650億円
営業利益	72億円
経常利益	71億円
当期純利益	52億円

(注) 第98期より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

事業部門別状況

事業区分	売上高構成比	
<p>国内ベルト事業</p> <p>売上高 138億49百万円</p> <p>営業利益 33億35百万円</p>	 <p>42.0%</p>	 <p>カーボン・オフセットの考えにもとづく環境に優しい搬送用樹脂ベルト「バイオマスベルト」</p>
<p>海外ベルト事業</p> <p>売上高 148億6百万円</p> <p>営業利益 14億80百万円</p>	 <p>45.0%</p>	 <p>耐油・耐熱性を高めたタイミングベルト「油中タイミングベルト」</p>
<p>建設資材事業</p> <p>売上高 22億32百万円</p> <p>営業利益 77百万円</p>	 <p>6.8%</p>	 <p>廃棄物処分場に採用された「ミズシートFPA」</p>
<p>その他</p> <p>売上高 20億47百万円</p> <p>営業利益 32百万円</p>	 <p>6.2%</p>	 <p>タブレット端末内部の電子回路に銀ナノ粒子ペースト「MDot」が使用されています</p>

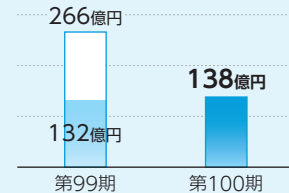
概況

売上高の推移

自動車用ベルトは、消費税増税により国内新車販売が落ち込むなか、メーカーの新型車種投入効果により、新車組み込みライン用の売上高は前年同期並みに推移しました。また、補修用ベルトの売上高も横ばいとなり、全体の売上高は前年同期並みとなりました。

一般産業用ベルトや合成樹脂素材は、企業の設備投資の回復に伴って増加し、OA機器用ベルトはユーザの海外生産移管の流れが鈍化しつつあることから増加しました。一方、運搬ベルトは前年同期に比べ大型案件が少なかったことから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は138億49百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は33億35百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

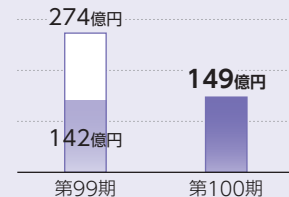


欧州では、一般産業用ベルトの売上高は前年同期並みとなりましたが、自動車用ベルトは二輪車用の補修市場向けの売上が好調であったことから、全体では増加しました。

また、米国では、自動車用ベルト・一般産業用ベルトの売上高はいずれも前年同期並みに推移しました。

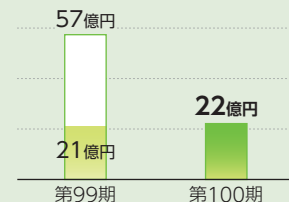
一方、アジアでは、一般産業用ベルトはタイ国の政情不安の影響などから横ばいとなりましたが、自動車用ベルトは新興国における補修市場の獲得に注力した結果、中国やインドネシアを中心に売上高が増加しました。また、OA機器用ベルトも日系ユーザの新機種への組み込み活動が奏功し、売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は148億6百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は14億80百万円（前年同期比44.8%増）となりました。



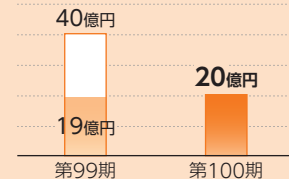
建築部門は、夏場の天候不順の影響などから改修工事物件の売上高が減少しましたが、土木部門では廃棄物処分場関連の工事物件や、遮水シートの材料販売が好調に推移し、全体では売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は22億32百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は77百万円（前年同期比172.7%増）となりました。



その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は20億47百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は32百万円（前年同期比80.1%減）となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

Point 1 流動資産

流動資産は、現金及び預金が10億65百万円増加したことなどにより、前期末に比べて14億93百万円増加しました。

Point 2 固定資産

固定資産は、新規設備投資に伴う有形固定資産が4億20百万円増加、株価の上昇に伴い投資その他の資産が11億66百万円とそれぞれ増加したため、前期末に比べて15億86百万円増加しました。

Point 3 純資産

純資産は、四半期純利益等の計上により利益剰余金が23億78百万円、株価の上昇及び為替の影響によりその他の包括利益累計額が16億40百万円とそれぞれ増加したため、前期末に比べて40億16百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前期末に比べて2.4ポイント上昇して67.0%となりました。

科目	前期末 平成26年3月31日現在	当第2四半期末 平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産	45,939	47,432
現金及び預金	15,326	16,391
受取手形及び売掛金	14,997	15,048
その他	15,615	15,992
固定資産	32,637	34,223
有形固定資産	21,120	21,540
無形固定資産	79	81
投資その他の資産	11,436	12,602
資産合計	78,576	81,656
負債の部		
流動負債	20,167	19,138
固定負債	7,686	7,781
負債合計	27,854	26,919
純資産の部		
株主資本	45,925	48,300
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	35,708	38,086
自己株式	△ 3,414	△ 3,416
その他の包括利益累計額	4,796	6,436
純資産合計	50,721	54,737
負債純資産合計	78,576	81,656

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	31,288	32,936
売上原価	21,960	22,553
販売費及び一般管理費	6,229	6,559
営業利益	3,098	3,823
営業外収益	614	602
営業外費用	218	149
経常利益	3,494	4,276
税金等調整前四半期純利益	3,494	4,276
法人税等	1,104	1,316
少数株主損益調整前四半期純利益	2,389	2,959
四半期純利益	2,389	2,959

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

▶ Point 4 売上高

売上高は、国内売上高の伸長に加え、アジア圏を中心とした海外の売上高が堅調に推移したことにより、前年同期に比べて16億48百万円増加し、329億36百万円となりました。

▶ Point 5 営業利益

営業利益は、前年同期に比べて7億25百万円増加し、38億23百万円となりました。年初の業績予想を上回る利益の計上となり、営業利益率は11.6%となりました。

▶ Point 6 四半期純利益

四半期純利益は、税金等調整前四半期純利益が7億82百万円増加したことにより、前年同期に比べて5億70百万円増加の29億59百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

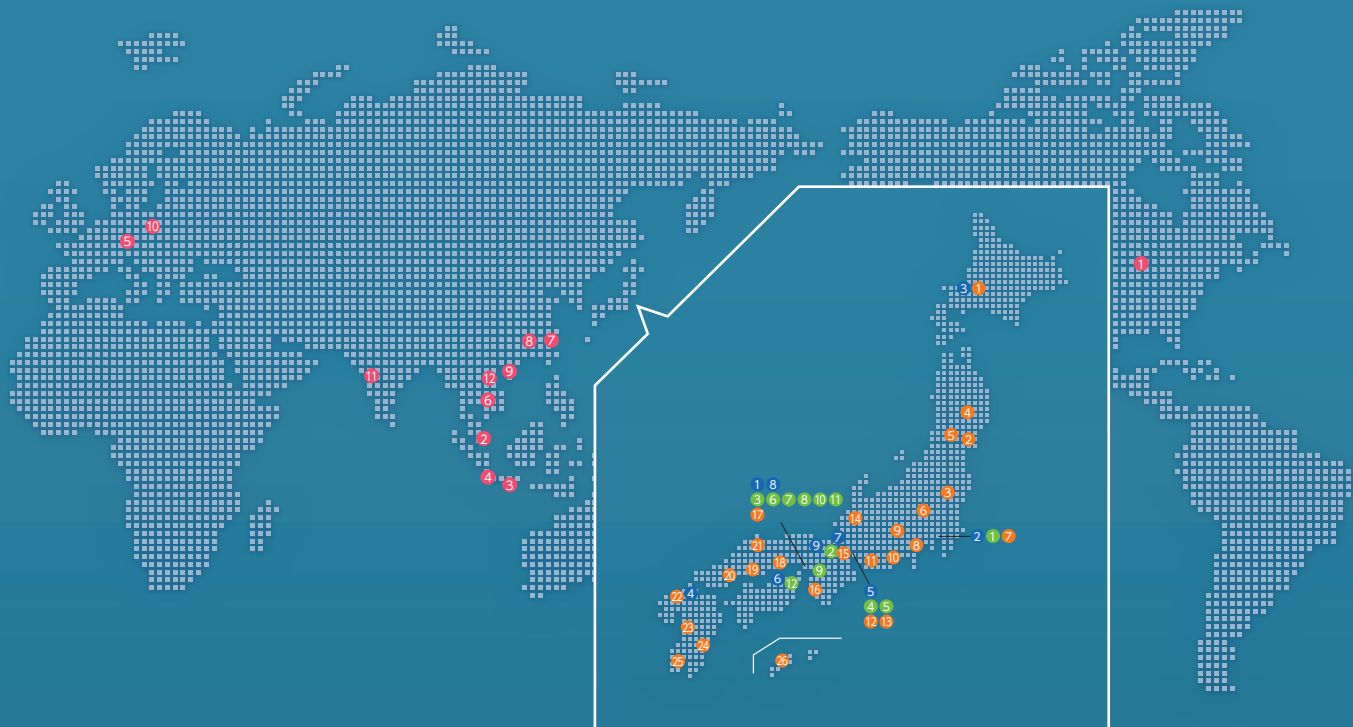
科目	前第2四半期(累計) 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,244	4,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,851	△ 1,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,751	△ 2,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 181	1,060
現金及び現金同等物の期首残高	14,317	14,740
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	15	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,150	15,800

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

▶ Point 7 四半期連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて11億33百万円増加の43億77百万円の収入となりました。主な要因は、前年同期に比べて税金等調整前四半期純利益が7億82百万円増加したことに加え、売上債権の増減額が13億82百万円減少した反面、たな卸資産の増減額が6億円増加したことによるものです。

一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて8億26百万円減少の25億77百万円の支出となりました。主な要因は、前年同期に比べて短期借入金の純増減額が6億29百万円減少したことによるものです。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンペヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ミベック(株)
- ⑨ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑩ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑪ エムエムコート(株)
- ⑫ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 栗東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

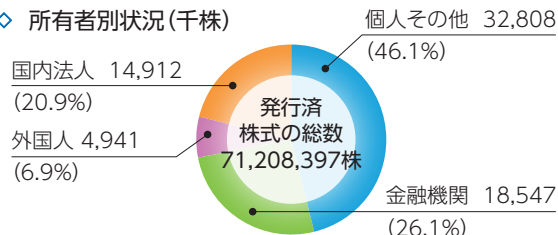
- ① MBL(USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ PT. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ Mitsuboshi Belting VIETNAM Co., Ltd.

株式の概況 (平成26年9月30日現在)

1. 株式

- ◇ 発行可能株式総数 325,213,000株
- ◇ 発行済株式の総数 71,208,397株
- ◇ 株主数 6,819名

◇ 所有者別状況(千株)



2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,140,000	7.22
トヨタ自動車株式会社	2,355,125	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340,550	3.29
星友持株会	2,313,870	3.25
小田田 欽造	2,070,000	2.91
西松建設株式会社	2,000,000	2.81
三ツ星ベルト社員持株会	1,746,130	2.45
三井物産株式会社	1,500,000	2.11
東京海上日動火災保険株式会社	1,376,804	1.93
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,372,164	1.93

(注) 上記のほか当社所有の自己株式6,600,545株があります。

会社の概要 (平成26年9月30日現在)

- ◇ 商号 ミツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.
- ◇ 創業 大正8年10月10日
- ◇ 設立 昭和7年10月10日
- ◇ 資本金 81億5,025万1,031円
- ◇ 従業員数 706名
- ◇ 営業品目
 - ベルト V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト
 - 建設資材 建築用防水シート、土木用遮水シート
 - その他 エンジニアリングストラクチャル フォーム、その他

- ◇ 事業場
 - 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
 - 札幌営業所 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
 - 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
 - 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
 - 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
 - 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
 - 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

役員 (平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	西河紀男	常務執行役員	黒野正治
取締役副会長	喜田宏	常務執行役員	對川芳憲
代表取締役社長兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	熊野格夫
取締役兼常務執行役員	山口良雄	執行役員	竹中昌弘
取締役兼常務執行役員	中嶋正仁	執行役員	羽村健
取締役兼常務執行役員	小田芳裕	執行役員	佐々木孝
取締役兼常務執行役員	片山孝	執行役員	増田健吉
		執行役員	西河俊伸
		執行役員	池田浩
		執行役員	陳振耀
監査役(常勤)	井ノ口正弘	執行役員	伊藤辰雄
監査役	奥島吉雄	執行役員	森野峰雄
監査役	宇佐美貴史	執行役員	又場敬司
監査役	若林邦昌		

(注) 監査役宇佐美貴史及び若林邦昌の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 1,000株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京
- ◇ 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行う。

公告掲載ホームページは、http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。

なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

www.mitsuboshi.co.jp

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した
植物油インキを使用しています。